

6690

14.2イ-478



1200601167637

南洋調査第二百三十二輯

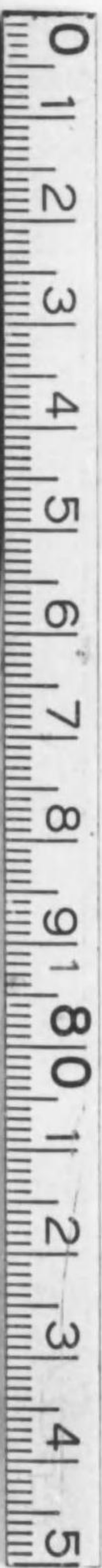
比律賓鑛業の現況

臺灣總督官房外事課

14.2イ

478

始



凡 例

- 一、本書は、早稻田大學講師吉原重威氏が比律賓視察の歸途臺灣總督府に於て講演せるものの速記である。
- 一、現在比島に於てはゴールド・ラッシュ其の頂點に達し、其他の礦物資源も非常に注目せらるるに至つた。此時本書は關係方面にとり有益な資料たるものと信ずる。
- 一、本書は、筆寫に代へるに印刷を以てせるに止まり、敢て公刊せんとするものではない。

昭和十一年三月

臺灣總督官房外事課

比律賓鑛業の現況

私は吉原であります。どうか宜しく。唯今原口さんから御紹介に預かりました様に、私は先々月の二十四日に長崎を出まして、先月二十九日に臺灣に著きました。唯僅か一箇月ばかりのことです。ごいいますから、充分の調査も出来ませんし、殊に比律賓は英語は通じますが、殆んど英語では間に合いません。主に三百年の歴史を有つて居ります。西語が役に立つ様であります。然し田舎へ這入りますと、殆んど西語も英語も何も通じません。土語だけしか通じません。其の土語と申ししても、私は臺灣のことはよく存じませんが、殆んど各州別々であります。私の参りました所は各州とも皆違ふのであります。比島全體では、約四十種の土語があるのであります。普通の旅行者と違ひまして、我々の商賣は案内者を連れて行く譯に行かぬから、唯單に道案内だけに、私一人で参りました。其の爲に大變に旅行の方も苦しいございまして、殊に充分なる調査も出来ませんでした。先づ大體比律賓の鑛業はどんなものであるか、現在の比律賓の

二
鑛業は如何にして進みつゝあるかと云ふことに就て極く大體見て参りましたことをお話します。

比律賓は一五二一年でございましたか、ポルトガル人の例のマゼランが世界の一周の時に發見致しまして、此處に(地圖を指す)セブと云ふ所があります。是に上陸しました。それから其の後約五六十年ばかり後に、有名な西班牙人のレガスピが之を占領致しまして、約三百年の間此の全部を治めて居りましたが、今から約四十年ばかり前に米西戦争の時に亞米利加が之を取りまして、其の後亞米利加の領有となり、昨年十一月獨立致します。迄は亞米利加の領土であつたのであります。

それで、我々殊に採鑛冶金の連中は、お耻しいことながら、此の比律賓に對して殆んど關心を持つて居りません。其の理由と致しましては、第一に亞米利加の領土である。だから我々が行つたつて駄目でないか、寧ろ行くならば亞米利加の方が好いちやないか、研究に行くならば亞米利加に行つた方が面白い。之が第一の理由。それから第二は本がありません、殆んど調べたものがありません。それでありますからして、どう云ふものが出來て居るやら、何があるやら少しも解りませ

ん。従つて比律賓には鑛産物がないのぢやないかと思つて居りました。それで、すから私も實は今迄比律賓と云ふ所は鑛産物がない所だ、或は行つた所で亞米利加人が既に突つついて居る、さう云ふ所に行つても仕様がなないぢやないか、斯う思つて居りました。所が十一月の末に私の友達が歸つて來まして、それは商工省の者であります。吉原君、比律賓は大變面白さうだ、行つて多少でも見て來ないか、さうすれば今後經驗のある人も行く様になるかも知れんと云ふ様な話がありましたので、それぢや行つて見やうと思つて出發した譯であります。愈々比律賓に行つて見ますと、我々の思つたよりは、非常に比律賓人が我々に對して好意を持つて居る。殊に要路の人々は非常な好意を持つて居りまして、是非日本人と提携して此の比律賓の鑛業を開發したい。成るべくならば亞米利加と手を切つて亞米利加の羈絆を脱して日本人と手を握りたい。さう云ふ意見が非常に現はれて居ります。

私は餘り紹介状も何も持つて参りませんが、比律賓に参りましたが、初め十二月三十一日に上陸しまして、一日はお休んで、仕方がありませんから、上院議員のアキノと云ふ人に會ひまして、實は比律賓の鑛業を見に來たのだが紹介して呉れない

か、金山と鐵とクローム、滿俺、斯う云ふものを見たが如何だらうと申しますと、此のアキノと云ふ人が、それぢや俺が大統領に紹介してやらう、それから大統領のケソンと云ふ人に會ひました。處が大統領は非常に喜びまして、鑛業に就て見に来た人はお前一人だから、お前の意向のある所は何でも見せてやる、殊にビュロウ・オプ・サイエンス (Bureau of Science) つまり此方で申せば研究所、その鑛山局長に紹介してやるから、それから説明して貰つたら好いだらう。斯う云ふ話であつた。それは有難うと言つて紹介狀を貰つて參りました。それから副大統領のオスメニアと云ふ人に會ひました。此のオスメニアと云ふ人は非常に日本最良の人で、私も日本に行つたことがある、大變日本は力になると思ふ、お前が此方に來たのだから是非相當な力を得る様に努めて貰ひたい。私の出来るだけのことはして上げやう、斯う云ふ譯で一晩御飯に呼ばれたりして大變御厄介になつたのであります。さうして其の方々の御紹介に依つて鑛山局長のアバデイラと云ふ人に會つて此の人の紹介で方々の鑛山を見た譯です。是から比律賓の鑛山でも見やうと云ふ方があれば、此のアバデイラさんに私から紹介狀を差上げて宜しいと存じます。先づ第一に比律賓で一番名高いのは金であります。それで金山を見やうと思

ひまして、マニラから百六十哩ばかり北のバギオと云ふ所に參りました。是は有名な涼しい所でありまして、此處が金山の中心地帯であります。それから鐵の方は非常に澤山ありますが、話を聞いたのみで視察は止めました。それから比律賓の北の端のイロコス・ノルテ州の此の邊地圖を指すに滿俺と石綿があります。それを見まして次にやゝ南のサンパレス州の此の邊地圖を指すのクロームの山を見まして、歸つて來たのであります。それを一寸申上げたいと思ひます。

先づ初めに順序と致しまして、比律賓の地質の概要を申上げます。私は實は臺灣の地質を存じませんので、よく判りませんが、此方へ來ます時に私の兄(理學博士、工學博士德永重康氏)が臺灣と比律賓とは大變よく似て居るから行つて見たらどうかと、斯う云ふ話がありましたのが、一つは行つて見ます因となつたのであります。

比律賓の地質の概要を申しますと、一般に複雑した古生層の基礎上に數千尺の新しい第三期層がありまして、その所々に中生層が出て居ります。それで全體としては先づ第三期層と見なければならぬだらうと思ひます、この第三期層も少し新しいのではないかと思つて居ります。之は臺灣の西部の方に似て居りませんか

と思つて居りますが、私は未だ臺灣のことをよく存じませんから申上兼ねますが、多分さうでないかと思つて居ります。地質圖で見ます通り、殆んど第三期層であります。此の記號のありますのが第三期層であります。中生層は影をちよつちよつと出して居ると云ふ位のものであります。それで化石は殆んどありません。唯單に貝の化石が所々ありまして、蛤、アサリなど現在生きて居る貝の化石があります。それからマンモスと云ふ様なものはありません。犀の化石はルソン島の何處からか出ましたが、出たと云ふ話だけ聞きました。其の實體は私は存じません。多分何處かの博物館か或は個人が持つて居りはせんかと思ひまして、博物館は全部歩いたのですが、犀の化石は見る事が出来ませんでした。若し犀の化石が出たとすれば氷河時代は大陸に連つて居つて、其の時に犀が此方に來たのでしよう。其の證據には、現在比律賓には殆んど猛獸と云ふものが居りません。豹も虎も居りません。唯彼方の方でカラバオと申しますけれども野生の水牛の變種が居ります。それだけに過ぎません。それから火山は處々にございます。有名な火山のマヨン山とか、其の他の火山が處々にございますが、全體としては火山島ではありません。従つて日本の様に火山島と云ふことは出来なだらうと思

つて居ります。唯單に處々に火山があると云ふに過ぎないと思ひます。之が地質の概要であります。

それから位置でございますが、位置は御承知の通り臺灣から直ぐ近く、小さな島が澤山ございまして、全部で七千以上あります。此の附近は殆んど數知れざる多島海でございます。面積は全面積が約十一萬五千平方哩であります。日本の本州と北海道と四國と合せた位であります。随分大きな島でございます。殊にルソン島とミンダナオを合せますと、此の全體の約七割位を占めて居ります。臺灣から此のルソン島の北端まで六十五哩、ボルネオから約三十五哩、そんなものでございまして、それで若し又彼方に御旅行になる方がございましたならば、只今が一番好いのであります。十二月から一月、二月、此の間が彼方では雨もなし氣候もよし、彼方の春の氣候であります。私が臺灣に來まして寒い／＼と云ふので笑はれましたけれども、丁度今は内地の六月頃の氣候であります。三月、四月、五月が彼方の夏期でありまして、夏期は随分厳しいさうで、道路のアスファルトが熔けるさうであります。それから七、八、九十が雨期になります。此の時季には河川が汎濫しまして旅行には非常に不便ださうでありますから、先づ御旅行になりますなら

ば十一月の末から十二月一月、二月此の間が一番好いだらう思ひます。

それから比律賓の人口は現在千二百八十五萬人ございまして、はつきり調査したものがございせんが、多分實際は千四百萬人位あるだらうと云ふこととございませぬ。其の中にタガログ族とビサヤ族といふのがございませぬ。之は北ルソンの此の邊から地圖を指す此の邊に居つて此の連中が一番幅を利かして居り且つ數が多いのであります。現に大統領のケソン氏は何でもタガログ族と西班牙人の混血ださうであります。それから副大統領のオスメニャ氏はビサヤ族と支那人の混血だとの事であります。比律賓では混血兒が非常にもてる。混血兒ならば非常に歓迎される。之は日本と一寸違ふ所で、偉い人は大概混血兒でありまして、ビサヤと西班牙人、或はビサヤと支那人、或はタガログと米人、斯う云ふ者の混血兒が非常に多い。之は一寸我々が奇異に感じた所であります。在留外人は約二十萬人ばかり居るさうでありますけれども、其の中の大部分は支那人であります。日本人は此のミンダナオにダバオと云ふ所があります。此處に一萬四、五千人居ります。それからマニラに三、四千人、他はセブーとか其の他の所に僅かづゝ居るに過ぎない。さう云ふ様な風でございませぬから、非常に人種の數が多うございませぬ。

いまして、四十幾種ございませぬ。従つて風俗習慣其の他が非常に違つて居ります。殊に旅行致しますに就て大變困つたことは言語であります。先程も申し上げました様に一々地方に參りますとタガログ語でも解らん、ビサヤ語でも解らん、西班牙語でも解らん、英語は無論解らん、矢張り其處の土人の言葉でなければならぬのであります。仕方がありませんから手眞似足眞似で用事を足した様な次第であります。

金山のことを一寸申上げますが、金山は主に唯今申しました通りにバギオと云ふ所にありまして、是が此の邊を擴大しました圖面でございませぬ。此處に小さな圖面がございませぬ。これはマウンテン・プロビンスと申しまして、之は山岳州であります。此處に非常に大きな鑛山があります。其の中にバギオ副州と云ふ所があります。此處に非常に大きな鑛山があります。主には是から金が出て居ります。其の他の所は殆んど數ふる程のものではありません。全體の金の産額は年額約七千萬圓ばかりであります。お手下に差上げて置きました比律賓群島の鑛山概要 — Mines in the Philippine Islands — これは私が見やうと思ひまして計畫した山の案であります。一寸御覽になつて頂きたいと思ひます。大體、今度見物しやうと思ひましたのは

是だけであります。パギオの中で全體としまして約十四、五の精錬所がございます。其の中の主なるものは此方に擧げて置きました通り、一番初め Benguet Consolidated は八百噸の精錬所がございます。それから Palatoc、これが千二百噸で之は現に二千噸となつて居ります。非常な大きな精錬所であつて、世界でも何番目と申すのなさうであります。次が Antamok Goldfields、これはそれに書いてありませんが四百噸の精錬所、それから次の Itogon Mine が百五十噸、Baguio Gold が百五十噸、Demonstration が百七十五噸、Suyoc Consolidated 百二十噸、これだけでございませぬが、其の外全部で十四、五ございませぬ。殊に私が見ましたのは Palatoc, Benguet, Antamok、これだけ見まして、丁度土曜日の晝になつてしまつて後は見る事が出来ませんでしたが、此の Palatoc なんかは非常に良い精錬所でございまして、二千噸のプラントに今なつて居ります。殊に彼方の方は何でも彼でも in the world で、品位でも鑛産額でも世界第二の鑛山と言つて居ります。何でも in the world 世界的と云ふことは亞米利加人の癖でありますから、兎に角大きなものであります。品位の云ひ現はし方がどうも私共にはピンと來ないのであります。比律賓の貨幣のペソであります。平均して一噸の鑛石中に二十四ペソ半位になつて居ります。是は少しあ

てにならないと思ひます。是を計算しますと丁度現在が一オンス三十五弗なんです。それで現在の一弗が三圓五十錢

\$35=1 oz. \$1 = p. 2 p. 1 = ¥ 1.75

これで計算して見ると日本の金にして一匁十五圓前後になります。日本では金が一匁十一圓五十八錢ですから、一匁に對して三圓四十二錢だけ亞米利加の方が高い。ですからして二十四ペソ半と申しますと約十萬分の一乃至一三位でなにかと思ひます。これで計算しますと、それ位になると思ひます。

ついでに一吋申上げますが、比律賓で以て鑛區を取るには、どうして取つて居るかと申しますと、鑛區は先づ出願して許可が來る。さうすると十ペソ―十七圓五十錢―拂ふ。さうすると自分のものになるらしいです。但し一鑛區(ワン・クレム)は日本の坪數に直しまして二萬七千三百二十五坪になります。其のワン・クレムを十なり二十なり、話に聞きますと自分の名前では不可んさうです。親、子供、親戚の名前になるのなさうですが、それを三十なり五十なり百なり取るのなさうです。其後は鑛産税を産出した鑛物の價格の百分の一、五拂ふのなさうです。さうしますれば好いのださうです。但し制限がございまして、一年間に之れ丈けの

仕事をしなければ取上げる。斯う云ふことになつて居るさうであります。

それから *Balatoc, Antamok* 此の山は、私行きました時に非常に面白く感じましたことは、バギオと云ふ所は大變に山の中でございました。スロープの多い所であり、傾斜の非常にひどい所でもあります。バギオの町は海拔六千尺、此處(臺北)よりも少し寒い位であります。さう云ふ所で以て殆んど山の谷合の間、それを切取つて平べつたくして千五百噸も或は二千噸もプラントを平べつたく作つて居る。私一寸金瓜石に参りましたが、金瓜石は階段を利用してだん／＼斯うして居る。所が此のバギオは成るべく平べつたくして居る。之は亞米利加の式でありまして監督に都合が宜いし、コンバクトに出来ると言つて居りました。之は何ちらが宜いかお考へにならなければならぬと思ひます。が之は一の考へちやないかと思はれます。

それから大變に機械に新しいのを使つて居ります。之は我々が雑誌で見ました位の機械をどん／＼使つて居ります。亞米利加で以て無論使つて居るのでせうけれども、我々が未だ見なかつた機械をどん／＼使つて居りますし、之は亞米利加迄行かなくとも比律賓で見物が出來ますから、新しい機械を御覽になる方は、お

いでになつたら如何かと思ひます。

それから又詳しくことは後で御質問がございましたら、御質問に應ずることに致しまして、先を急ぎまして、次はブラカン州の *Ipo Mine*、これは百五十噸プラントであります。之はマニラの直ぐ近くで餘り大したものでありませんけれども、大變な貧鑛を取扱つて居りました。此處のは百萬分の四五ださうであります、大變成績が宜いさうです。それから *Zalcut Mine* 之は二百噸でありますけれども、餘り良くないさうです。私は見に行きませんでした。それから此處で一吋考へたことを申し上げますと、外國においでになりますと、どうも言葉が解らん、或は紹介狀がない、斯う云ふことを御心配になる様であります。私の考へました所では、大してさう云ふことはないと思ひます、殊に私なんかは専門のものを見ますから、大した説明を要しないと云ふ點もございませうけれども、殊に私がイボに参りました時も *Penguet* に参りました時も、さう云ふ紹介狀を持つては居りましたが、イボなんかでは紹介狀を間違へて他の所に持つて行く紹介狀を持つて行つた、それで私が紹介狀を出した所が、之は外の紹介狀ぢやないか、然し見たいと云ふならば紹介狀はなくともイエース・オーライと云ふので、手を取つて見せて呉れた。亞米利加人と云ふ

ものは極くさつぱりしたもので、どんな詳しいことでも見せて呉れます。我々之を見ては餘り氣の毒でないかと思ふ様なこと迄も見せて呉れます。それを少し寫して來ましたけれども、實は此方に參ります心算でなかつたから、材料は皆東京に送つてしまひまして、此處に持つて居りません。それから又、サンブルなんかも、いろ／＼貰つて金のピカ／＼光つたものを喜んで呉れましたけれども、之も皆東京に送つてしまひました。それからカマリネス州でございしますが、此のカマリネスと云ふのはルソンの南の方此の邊(地圖を指す)であります。United Paracale之は百二十噸プラントであります。其の次のSan Mauricio Company之は一寸解りません、多分精鍊所はないだらうと思ひます。

それからマヌバテ州のMasbate Consolidated之は矢張り二千噸のプラントで、之も未だ全部完成してない様であります。それからI. X. L. Mining Co.それからスリガオ州と云ふのはミンダナオ島の北に當りまして、此の邊(地圖を指す)であります。之に三、四ございしますが主に此のミンダナオの方は砂金らしいございします。之は私行きませんでした。

其の次はサンボアング之は良くないと云ふ話でありましたから之も止めました。此の比律賓の鑛業は金以外には殆んどやつてないのであります。鑛物は澤山ありますが金以外には殆んどやつて居りません。金は皆亞米利加に持つて行つて居ります。比律賓では全部亞米利加に現送して居るらしいので、其の亞米利加に現送したのを比律賓の金に直して、比律賓が銀を建前にして紙幣を發行して居るのださうです。だから外の鑛業と云ふものは金以外には殆んどやつて居りません。

唯、鐵が此の圖面の此の邊を之に大きく伸したのでありますが、カマリネス州此の邊に日本の岩井商會が關係して居りまして、Atlantic Gulf & Pacific Co.之は亞米利加の會社であります、それが採鑛所を持つて居りまして、それで日本の岩井商會はコントラクトして、鐵を毎年四十萬噸づゝ日本の製鐵所に送つて居ります。之が唯一の鐵鑛を發掘をして居る所であります。之は昔、久原時代に日鑛がやつたのださうです。所が品位が良くなかつたとか何とか云ふことで、とう／＼うまく行かないで其の儘になつてしまつたのですが、又鐵の値が騰り日本製鐵が之を買つたものですから岩井さんがやつて居ります。

一寸鐵のことを申し上げます。鐵は比律賓到る所出る様であります。迎も我々

が想像以外に鐵の量がございます。それで第一番目に多いのはミンダナオの北のスリガオでございますが、實に多いもので丁度是从斯う(地圖を指す)三角に取りまして、之が政府の保留鑛區になつて居ります。此の邊に參りますと、殆んど鐵鑛ばかりで眞つ赤に見える。此處は港が宜しうございますし、鑛石は餘り良くはありませんが、五十二%位の平均を持つて居ります。此の島も殆んど全部鐵鑛でございまして、實に鐵の量の多いことは夥しいもので、調査課の報告に依りますと、これだけで五億噸あると云ふ話であります。之は主としてフェルジナス・クレーの中に多量の水酸化鐵が入つて居る鐵鑛ぢやないかと思ひます。之は比島が完全に獨立しまして日本と十分なる提携が出来ましたならば、之は最も問題になる山でないかと思ひます。之は現在では何も仕事をして居りませんで、唯風雨に曝されて居るだけであります。

それから其の次に有名なのは今申しましたカマリネス・ノルテ、岩井さんがやつて居る所、之は相當に品位が宜しうございます。之に書いてございますが、カラムパイヤンガンと云ふのは山の名前でございまして、マンブラオの近くのカランパイヤンガン島にあると云ふのです。之に今棧橋を造つて鑛石を採掘して日本に

賣つて居る。The Atlantic Gulf & Pacific Co. で仕事をして居つて、岩井商會で之を賣つて居る。其の鑛量は百萬噸乃至三百萬噸あると云ふことです。鑛石は赤鐵鑛です。今年からは五十萬噸出すさうであります。此の平均品位が約六十かと思ひます。之は大變良い品位であります。

其の次はブラカン州の鐵山で鑛床は十五キロに亙つて居ります。鑛石は磁鐵鑛と赤鐵鑛で其品位は良いのでありますけれども、大變便利が悪いので之は仕事はして居りますけれども、つまり比律賓式に仕事をして居りまして、鋤や鍬を作つて居るに過ぎないと云ふことであります。之には行きませんでした。之にも書いて居ります通り、フアールコースト海岸から非常に遠くて鋤の製作に過ぎない。甚だ品位は高くて六十%ある。それで一乃至二百萬噸の鑛量があるのです。

それから其の次はヘルナニであります。此の邊にヘルナニと云ふ所がありません。それはカドワラダと云ふ人がやつて居るのですけれども、大してやつて居りません。之は鑛量二百萬噸、赤鐵鑛でありまして、五十八%の鐵分を持つて居る。燐と硫黃が少いさうです。

其の外、鐵鑛はミンダナオとルソンの間殊に此の邊の島(地圖を指す)に澤山ござ

います。これにもく、到る所鐵鑛がございます。之を見に行きましたら、一箇月乃至二箇月はかゝるだらうと思ひます。此の比律賓の旅行と申しますものは、非常に島内の船の工合が悪くて不便であります。自分で以て發動機船を借りて行かなければならぬ位であります。私は北ルソン島の方に行きましたから、自動車ばかりで、夜分なんか一時間に六十哩から百哩位も走つて一晝夜に六百哩位も歩きました。殆んど自動車ばかり使つて居りましたのでございませぬが、此處らの地圖を指す島々に行くのは大變不便で、發動機船でも借りて行かなければならぬと思ひます。それから次は滿俺でありますが、之も到る所出ますが主にルソンの北、此の邊地圖を指すが多い様であります。それから是地圖を指すにも出ます、此處にも出ます、それからミンダナオにも出ます。イロコス・ノルテ州の此の邊地圖を指すのを見ましたが滿俺のことですから正規な十分な鑛床にはなつてゐないと思ひます。然し相當大きな塊になつて居りまして、品位も相當よい様であります。金屬滿俺としまして五十%前後のもので、此處には政府の—亞米利加のネービー及びアーミーで以て保留した所の鑛區があります。之も見ました。品位も宜しうございます。未だ之は輸出してゐませぬ。それから、バラワンのク

ョー、之は此の邊地圖を指すにあるのです。之は品位が未だはつきりしてゐませぬ。それからアンターケと云ふのは此の島です。之は甚だ品位が悪いさうであります。之は行きませんでした。それからカマリネス・スール、之は岩井さんがやつて居る鐵鑛の南側に當ります。之は硅酸が多いと云ふ話でありましたけれど、相當に宜いものだと云ふことでもあります。或る一部分は硅酸が多くて悪く、外ものは大變良いと云ふ話を聞いて居ります。

此のカマリネス州の近所には、硫化鐵鑛が出て居ります。私の所に鐵鑛だと言つて持つて参りましたのは、見ますと立派な硫化鐵鑛であります。品位も良い様でありますし、量も澤山あるさうであります。之は硫酸製造の後で硫黄を利用し、後を鐵鑛のバアブルオアとして取扱ふと大變宜いと思ひます。之は皆彼方は鐵鑛だ、と言つて居ります。

それからスリガオのダイナガット島之は先程申しました鐵の多い此の島地圖を指すであります。之もサンブルの鐵も持つて参りましたが、東京に送つてしまつて今持つて居りません。一寸附加へて置きますが、イロコス・ノルテの滿俺の直ぐ傍には石綿が出まして、此の石綿は餘りよくありませんが量は相當ある様であり

ます。之は私見て参りました。蛇紋岩から出来て居る石綿であります。この蛇紋岩は閃綠岩か何かから出来て居ると思ひます。

それから次はクロミウムであります。第一がサン・ホセ、之も矢張岩井さんの鐵鑛のあるカマリネスの直ぐ傍にあります。カドワラダと云ふ人がやつて居るのであります。Fluoritic Mining Co. が之をやつて居ります。鑛石を亞米利加の Vanadium Corporation に送つて居ります。之は二酸化クロムとして五十一%であります。それからサンパレスのマシシロツク此の邊でございます。之は海岸から直ぐでありまして之は私行つて見ました。非常に大きなものであります。此の量は此處にも一寸書いて置きましたけれども、五百萬噸位あるだらうと斯う云ふのです。之は亞米利加の會社がやつて居ります。此の會社に就て面白い話があるのです。それは日本が非常に比律賓を望んで居る、日本は此の十年後には必ず比律賓を取るに相違ない。で、一番大事なことは、軍需工業の鐵及滿俺、クロムである。若し亞米利加人がクロマイト鑛業をやらないならば必ず日本人がやるであらう、だからお前達は國家の爲にやれと云ふので、それで出来た會社ださうであります。さう云ふことをやつて、兎に角比律賓人及亞米利加人は十年後には日本が

取るだらうと云ふことを何度私は聞かされたか判りません。十年後には比律賓はどうなるか知つて居るかと云ふと、比律賓は日本のものである、必ず日本が取るに違ひないと言ふことを言つて居る。殆んどそれは彼方では常識的になつて居る。滿洲は我々の生命線である、所が比律賓は亞米利加の贅澤線であり且つ厄介線である。さう云ふことを或る方が言はれたことがあります、比律賓では其の位、日本のものになるくと斯う云ふことを言つて居ります。それをうまく使つてサンパレスのマシシロツクの會社が出来たのださうであります。

之は私行つて見ましたが鑛量も多うございますし、品位も相當に良いものであります。但しクロム鐵鑛のことでございますから、あちらに一つ此方に一つ大きな塊があります。其のサムパレスの奥に澤山の鑛區がありまして、亞米利加政府でアーミー・エンド・ネイビーの爲に保留して居る鑛區もございます。それは餘り良いものではありませんでした。

それから其の次の第三バシカー、これは第二と近い所にあります。此の所にある Acioje Mining Co. 之も行つて見ましたが、之はケンソ大統領の夫人が此の權利を握つて居りまして、之は非常に便利が悪い。馬で以て一日行かなければならぬ。其

の手前のもも見ましたが之は品位は非常に宜い様であります。

それから第四がサマール州のホモンホン島、此の邊に(地圖を指す)ホモンホン島と云ふ所がある。小さな島であります。之から出ますのであります。之は探鉱しただけで何も仕事して居りません。

比律賓の鑛業と致しましては、先づ以上述べました様なのが主なるものでございます。所が銅と亜鉛、鉛、斯う云ふものが比律賓には出るのでございます。ピエウロー・オブ・サイエンスに参りましてサンプルを見ました所が、銅鑛の立派なものがある、又亜鉛鑛の鑛石もございます。銅鑛の事を聞きますと一向要領を得ません。銅なんかは持つて居ても仕方がないぢやないか。銅は亞米利加に澤山あるから宜いぢやないか。つまり比律賓の鑛山と云ふものは亞米利加の爲の鑛山であつて、比律賓の爲の鑛山でない、斯う云ふ頭があるから兎に角金は金になるから一番好い。金以外の鑛石に對しては餘り見向きもしなかつたらしい。それでさう云ふことを言はずに少し調べて呉れと云ふ話がございます。一寸私は調べたのですが、銅山としては *Mankayan Copper Mine* マウンテン州にございます。一寸此處に書いて置きましたけれども、三呎乃至十呎の幅のある銅鑛帯であつて、つまり

二百尺も幅の廣い鑛脈の中に銅鑛帯としては更に三呎乃至十呎あると云ふ譯です。大變此處は便利が悪うございまして、道路を拵えるのに百萬ベソ位かゝるだらうとの事です。之は私のメモに書いてある分を御話したのでありますから、どうか其のつもりでお読みになつて頂きたいと思ひます。それで、それに附加へて頂きますのは此の鑛脈が約三本乃至五本あります。けれども主なるものは三本であります。平行脈でありまして金を含んで居ります。其の良いものは七%乃至十%の含銅品位で平均が八%、それから鑛石は主にエナルジャイト(硫化銅鑛)でございます。金を持つて居るエナルジャイトであつて一噸に對して約三ベソの金を含んで居ります。其のエナルジャイトの中に黄銅鑛もあります。此のエナルジャイトは彼方ではルソナイトと申して居ります。ルソン島から出るからさう云ふのでせう。此の鑛山は未だ仕事をして居りません。其の理由は、非常に便利が悪い爲に仕事をして居りません。之は將來誰か行かれて仕事をされる所でないかと思ひます。

次は *Pinar Copper Mine* これはカピス島(地圖を指す)にございます。之も非常に品位の良いものでございます。分析しませんから判りませんが、鑛石を見ますと矢張

リエナルジャイトでございまして、七%乃至十五%の含銅品位で、メモに書いたのは五十噸の日産額を持つて居るのではないので、今日産額五十噸の計畫をして居るのでございまして、其の心算で、之は日本人が關係して居りまして、良い鑛石になりますと品位が三十%位ございまして、

それから此の外小さい鑛山は澤山ございまして、

次に亞鉛及鉛鑛でございまして、第一マリन्दユツク島、サンタクルース及トリホスの近傍にありまして良港たるサラマンガ灣より三キロの距離にあります。

第二セブー島にあるアクスピング鑛山であります。マリन्दユツク島と云ふのはルソンの近くの島であります。之は脈の幅が四尺乃至十尺、品位が六%の鉛、六%の亞鉛でございまして、良いものになりますと鉛の方は六〇%のものもありませんし、亞鉛の方でも四〇%位のものもございまして、時々銅を含んで居ります。

次のアクスピング鑛山と云ふのはセブー島にございまして、斯う云ふものは殆んど見向きもして居りません。私が鑛山局に行つて鑛石を見付けて來て、これは何處だ、と言つてうるさく聽いたので此の鑛石は此處から出たのだと言つたのですが調査などはして居りません。之は一つは調査上の金のない爲らしうご

ざいます。亞米利加が比律賓を領有しまして三十五年になりますけれども、初の中は相當に調べたものらしい。それで斯う云ふ風な(書物を示す)報告が澤山出て居ります。之は皆千九百十何年とかので大分古いのでございまして、之に依つて私は調べたり或は聞いたりしたのでございまして、此の中に鑛山の調査が出て居りましたので之で調べました。最近は殆んど出て居りません、つまり今では金もないし、どうせ調べた所が日本のものになつてしまふのだし、調べた所で仕方がないぢやないか斯う云ふ頭で調べないのぢやないかと思ひます。

それから石油でございまして、實は石油のことは私は見て來ませんでした。サンプルだけ見ました。之は先程申しましたアバデイラと云ふ人に話した所が近頃石油會社の疑獄問題が大問題になつた。或る石油會社が澤山つまらない石油の鑛區を取つて株券を賣りつけ大變な大騒ぎをやつたのが、つい最近であります。其の爲にアバデイラ氏は證人に呼ばれて居るらしい。それで私が逢ひました所が、どうも石油の話だけは政府から禁せられて居るからしたくない、今行くのも遠慮して呉れないか、あなたが行つて問題を起すと困るから、後でもう一べん來て石油を調査して呉れないか。自分としては相當あると思つて居るが、之以上お話す

ることは出来んと、斯う云ふ話でありました。それで抜書しましたのを茲に書いて置きました。此の大體を申しますと、石油は主にミンダナオの北部、それからルソン島の南の此の島(地圖を指す)即ちボントック半島、レイテ島、セブー島、バナイ島などに出ます。然し殆んど手がついて居りません。所々浅い井戸を掘つたのはございますけれども、殆んど仕事はして居りません。それから石油は主にパラヒン屬でございまして、大變良い綺麗な石油でございまして、餘りドロ／＼して居りません様であります。ミンダナオのコタパト州では石油が自然に所々に出て居つて土人が燈用としてゐる所がございまして、いづれ近い内に亦行つて來たいと思つて居りますが、之で見ますと、臺灣の石油に相當關係がありはせんかと一寸考へられるのでありますけれども、是は臺灣でも比律賓でも調べて居りませんから、はつきり申兼ねますけれども、さう云ふ感じが致します。殊に私の一番見たいと思ひますのは、此のセブーとミンダナオの石油です。此の石油は、丁度私が彼方へ行つて居りました時に、一番初め申しましたアキノ氏が鑛區を持つて居つて、お前セブーに行つて是非俺の鑛區を見て呉れないかと言はれたのでございまして、さう云ふアバダイラ氏の御忠告がございまして、もう一べん見に來たら如何か、滿洲

に行くより此方の方が近いぢやないか。神戸から直行しますと四日で行つてしまひます。それですからして、彼方へ行くよりか、もう一べん來て呉れないか、其の時に調査して呉れないかと云ふことでありましたが、止めました。

丁度私が旅行中に、マニラから高雄に參ります船の中で或るニューズを受取りました。セブーの石油が非常によくなつたと云ふニューズで、此のセブーの石油はもう一度調べて見たいと思ひます。さう云ふ譯でございまして、石油の事は後日に延ばしまして、大體比律賓の鑛業の現状を申上げました筈でございまして、

それから最後に比律賓に若し御旅行になりますお方がございまして、一寸申上た、これは、比律賓の旅行は殆んど此のルソンの方は海岸にすつとアスファルトの立派な道路が出來て居ります。それは道路が一、二、三、四といくつかに分れて居りまして、此の黒いのが(地圖を示す)皆アスファルトの道路であります。之に一とか二とか三とか四とか書いてありますから此の番號に合はせて通つて行けば好いのです。さう云ふ様に、非常に便利がよく出來て居る、但し田舎へ入りますと殆んど道路がございせん。だから之は馬か水牛に乗るより外仕方がありません。馬が一番宜しうございまして、水牛に乗りますと、途中で水がございまして、水

牛は直ぐ河の中に沈んでしまふ。其の覺悟で乗れば宜しうございますけれども……。それから案内者は此處にはありません。之は餘程案内者にお氣をつけになつて行かないと不可ません。それからルソンの方は殆んど道路が完成して居りません。其の他の南の島々へおいでになる方は殆んど道路がない。單に小さな發動機船か何かでなければならん。殊にミンダナオと云ふ所は、人跡未踏の所が澤山ある様でありまして、いろ／＼珍しいものがある様です。土人の方は私よりも皆様の方が御經驗がある様であります。土人は今の所は怖いものは居りません。昔は人喰人種が居つたさうですが、今は居りません。之は話に聞いたのですが、斯う云ふ料理があるさうです。それは、犬を連れて来て三日も四日も縛つて置いて非常に腹を減らす。さうして、愈々すつかり腹の中の掃除が出来た時に澤山飯を食はす。食ひ終ると直ぐ其の犬を殺して、それを其の儘蒸焼にして其の腹の中の飯を食ふのださうです。之は私は食ひませんでした。それから家鴨に卵を抱かせまして、愈々其の卵が孵化してひよこになるかならんかと云ふ時に食ふのです。大變美味いさうです。之なんかは奇習ですね。それからイゴロテの人種

なんかは、丁度相撲取が締めて居る様に赤い六尺褌を締めまして、それを前と後に垂らしまして大きな蕃刀をつけて裸足で歩いて居ります。髪は殆んど昔の日本人を見る様であります。多分日本人の血統を多少引いて居りはせんかと思ふ様なものであります。現に私が或る田舎に参りました時に、其處のエンジニアが私に、俺の細君は日本人だ、お前逢つて呉れないかと云ふのです。珍らしいな、此の田舎に、日本人の女が居るか、幾つかと云ふと二十三、這入つて行くと成る程日本人の女が出て来た。けれども何とも言はん。それは矢張りイゴロテ人の女なんです。さう云ふことで殆んど顔だけは日本人によく似て居る。色が黒いが之は我々も黒くなつたから大した相異はない。女なんかもアツパツパなんか著て居るから一寸判らない。骨格體質が非常によく似て居る。それから日本人に非常に好意を持つて居りまして、例へば私なんか参りまして旅行します時に、何處へ行つて宜いか判らず自動車に乗つて行つて宿屋があるかないか判らんから、其の邊の一番金持の様な所に行きまして一晩泊めて呉れないかと云ふと、非常に喜んで泊めて呉れる。歓迎して喜んで泊めて呉れる。其の點は大變助かりました。食物は――私は比較的食物に對して好き嫌ひがございせんから少しも差支へませんでし

た。罐詰を持つて行きませんが、彼方のもので済まして居りました。少し油つこい様であります。支那食を召上ると思ひますれば、何でもないと思ひます。唯今の犬の腹の中の飯と云ふ様なものは食へませんけれども外の物ならば何でもありません。それから良い水がありません。アメリカ赤痢が非常に多いさうでありますから、水は何かに入れて持つて行つた方が宜いと思ひます。寢床には閉口しました。田舎に行きますと竹の柱に萱の屋根で、寢床も丸い竹を其の儘に置いてフレームを拵えてそれに小さい竹を載つけてある。それに寝るのです。がたがたして一晩位我慢しますけれども、二晩三晩になると、背中が痛くなつて非常に困りました。之は寢臺でも持つて行つた方が宜いと思ひますが、私は自分一人で面倒臭いから持つて行きませんが、之は閉口しました。衣服は何も要りません。それから帽子が要らんです。マニラで以て帽子を冠つて居るのは外國人位のもので、初めて行つた人が冠る位のもので殆んど冠つて居りません。それから靴なんかは、私は地下足袋をはきました。が地下足袋が一番宜かつた様であります。猛獣は殆んど居りませんが唯一番閉口したのは蟻であります。非常に蟻が痛いのであります。喰ひ付いたら實に痛いのが居ります。それが到る所に居ります。

蛭は居るさうでありますが、私は逢ひませんが蟻には閉口致しました。又此方も居るさうでありますが、田舎に行くに到る所守宮が居ります。うつかりして口でも開いて寝て居ると、口に飛込みはせんかと思ふ位居ります。

甚だつまらん講演でございますけれども、之で終ります。若し何か特に御質問でもございますれば、幾らでも御答へ致します。どうも甚だ相済みませんでした。(拍手)

—昭和十一年二月三日午後四時二十八分—

6690

24

47492

購



1.50

終

